

掖済会の あゆみ



前島密氏ほか明治政府の要人や海運界首脳約50名が発起人となり、当会を設立したのは、明治13年(1880年)8月のことでしたが、実質的な事業の開始は、翌14年6月、東京府南品川区にある心海寺の一部を借り受けて「海員寄宿所」を開設した事に始まります。

当時の船員は、厳しく劣悪な労働環境の下、江戸幕府以来の船方の悪習をそのまま引きずっていたため、これを早急に是正し、生活習慣を改めさせなければ、近代的な海運の発展が望めないと考えたからでした。

その後、宿泊の提供に加えて、乗船の斡旋、船員の教育訓練、遭難船遺族への弔意・慰安などの事業を行う一方、船員に対する医療の提供など、幅広く福利厚生に努めてきたところです。

これらの事業は、第二次大戦後、国の直轄事業や公益法人の業務として引き継がれ、掖済会には主として医療事業が残る事となりました。

これを契機として、掖済会は、地域住民の皆様方のための医療・福祉に専念することになりました。

交通のご案内



公益社団法人日本海員掖済会
横浜掖済会病院

〒231-0036 横浜市中区山田町1番地2
TEL.045-261-8191 FAX.045-261-8149
<http://www.yokohama-ekisaikai.com>

Yokohamaekisaikai Hospital



公益社団法人日本海員掖済会
よこはまえきさいかいびょういん
横浜掖済会病院

■ 理念

◇掖済(導き・助ける)の精神に基づき安全、信頼、敬愛の医療を目指す

■ 基本方針

◇急性期一般病院として継続

◇医療・看護の質の向上

◇安全管理の徹底

◇医療・介護・福祉における地域連携の推進

■ 病院長より

患者さん中心の満足度の高い医療を目指します

当院は1896年(明治29年)の創立でもとは船員の方のための病院でしたが、第二次大戦後は船員の方のみならず地域住民の皆様の医療の充実および健康の増進に尽力し、さらに社会福祉の面でも貢献しております。
横浜掖済会病院の「掖済」は“わき”(腋)に“て”(手)を添えて助けるという意味です。患者さんとのコミュニケーションを大切にし、患者さん中心の満足度の高い医療を目指して職員一同が一丸となって努力する所存です。



病院長 内藤 実

診療科目	内科、消化器内科、外科、消化器外科、肛門科、整形外科、リハビリテーション科、眼科、放射線科、麻酔科
専門外来	循環器科、呼吸器科、脳神経内科、血液内科、泌尿器科
病床数	151床(一般)
基準	急性期一般入院料 4
届出	医療安全対策加算 1 医療安全対策地域連携加算 1 感染防止対策加算 2 診療録管理体制加算 2 認知症ケア加算 2 入院時食事療養 (Ⅰ) ニコチン依存管理料 薬剤管理指導料 検体検査管理加算 (Ⅰ) (Ⅱ) 運動器リハビリテーション料 (Ⅰ) 脳血管疾患等リハビリテーション料 (Ⅲ) CT及びMRI撮影 麻酔管理料 (Ⅰ) 輸血管理料 (Ⅱ)
手術	585件(全身麻酔396件、腰椎その他189件)令和5年度実績
設備	マルチスライスCTスキャン、超音波診断装置(エコー)、各種内視鏡、血管造影装置、 眼科用各種装置等、MRI装置、PACS装置、電子カルテ式

内科

当院内科は一般内科、消化器科を専門とする医師で構成されていますが、消化器内科のみならず老年医療や福祉医療にも積極的な治療を行っています。

専門分野では消化管全般の治療、B型肝炎・C型慢性肝炎の治療、肝臓の局所治療・カテーテル治療等実績があります。また、専門医による専門外来(循環器内科、呼吸器内科、神経内科、血液内科)を行っています。地域医療・老年医療では、介護老人保健施設(えきさい横浜)を併設し、横浜市中区・南区において、医療・介護・福祉における地域医療連携の中心的役割を果たしています。その一環として横浜市大附属病院と連携し、臨床研修医の地域医療研修や学生実習、及び地域の診療所と病診連携を実施しています。

福祉においては生活保護者の医療を行うとともに、中・南福祉事務所、横浜市中福祉保健センターなどの行政と協力し、結核予防を含めた地域保健予防医療にも関わっています。他病院にない特殊な役割として船員を対象とした医療もっており、当病院での検診や港湾地区診療所での診療等に加え、航海途上の急患に対する電話電報相談、緊急時の海上保安庁の巡視船・ヘリコプターによる往診等も行っています。「消化器専門医療」、「呼吸器内科・血液内科」、「高齢者の支援を含めた老年医療」、「船員に対する医療」等を柱とし地域に根付いた医療を行っています。

外科

年間約250件の手術で、内訳は大腸癌や胃癌が60件、胆石40件、鼠径ヘルニアは100件を超えています。横浜市大センター病院との連携がなされています。胆石や大腸癌に対し、腹腔鏡手術を積極的に行っています。傷が小さく、痛みも軽く、術後の入院日数も短縮できます。当科の平均在院日数は11～13日です。

専門分野として、消化器外科(胃・大腸・肝臓・膵臓・胆嚢など腹部疾患、急性虫垂炎、大腸憩室炎、腸閉塞など救急腹部疾患)、一般外科(鼠径ヘルニア、肛門疾患、体表の腫瘍)です。

整形外科

当科は2024年4月より4名のスタッフが交代となりました。今まで、近隣の診療所、クリニックと円滑に連携してきており、今後も周りの先生方と蜜な連携を継続し、患者さんに寄り添う医療を心がけていきます。現在、日本整形外科学会専門医3名を含む整形外科常勤医5名と、理学療法士6名、作業療法士1名のリハビリスタッフで、あらゆる整形外科分野の疾患について、適切な治療を行っています。また今年度より、日本手外科学会専門医による手・肘関節の治療、膝関節・股関節を専門とした医師による治療を中心に診療を行っていききたいと思います。骨粗鬆症においても、飲み薬から注射まで、それぞれの患者さんに応じた治療を提供していきます。四肢の変形や痛み、しびれ、また首・腰の痛みなどでお困りの方は、お気軽にご相談ください。

眼科

眼科全般の治療を行っています。その他日常気になる眼の症状や眼の悩みを患者さんにわかりやすく説明し丁寧な診療や治療を心がけています。一般疾患の診療、検査、治療ができる外来設備を備えています。また視能訓練士が特殊検査を担当しています。白内障手術も積極的に実施。主に視力、眼圧、前眼部、眼底検査を中心とした一般診療の他に、緑内障や脳疾患に係る視野検査、蛍光眼底造影検査やその他レーザー治療を行っています。

院内のご案内

6 F

会議室

5 F

5階病棟

4 F

4階病棟
地域連携室
事務室

3 F

3階病棟
D1室

2 F

管理棟
薬剤部、検査室
手術室、内視鏡室
リハビリ室

1 F

各科外来
レントゲン室
売店
事務室

B1 F

栄養科、厨房